

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600750
法人名	株式会社 ジェイコム
事業所名	グループホーム丹原の郷
所在地	愛媛県西条市丹原町池田 1 2 6 7 - 1
自己評価作成日	平成21年7月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・筋力低下予防の為、毎朝20分ほど散歩に行き、雨天時は室内で廊下歩行をすることが日課になっている。</p> <p>・昼・夕食の前にはラジオ体操、口腔体操を必ず行っている。</p> <p>・介護の手間がかかっても職員と一緒に日常生活でできることは自分でしていただいている。（食事作りの手伝い、居室の雑巾がけ・シーツ交換・スリッパの裏拭きなど）役割や生きがいのある生活を送れるよう支援している。</p> <p>・利用者個々に好きな菊の苗を選んで頂き、秋の菊見会に向けて、毎日水遣りをして育てている。</p> <p>・果物狩りに出かけている。（すもも、いちじく、柿など）</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>地域で行われる敬老会には、職員代表がお手伝いに出られる。事業所が育てている菊を展示する「菊見会」には、多数の方が訪れている。野菜を届けて下さった方は、お茶を飲んで帰られたり、利用者が庭でお茶を飲んでると立ち寄ってくれたり、又、葉牡丹を育てることを協力して下さっている。</p> <p>旬の野菜や地元の食材を使用するよう心掛けておられる、梅干やらっきょう・佃煮の他、白菜や野沢菜等の漬物も手作りされている。利用者は食材の下ごしらえや下膳・食器洗い等、個々に出来ることを職員と一緒にされている。調査訪問時には、地元の方からいちぢくの差し入れがあった。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 丹原の郷

(ユニット名) 上町

記入者(管理者)

氏名 山内 美登里

評価完了日 平成21年 7月 20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ホーム開設時の理念を、わかりやすい文章にして各ユニットに張り出したり、職員の名札の裏に記載し、いつでも職員が確認できるようにしている。	
			(外部評価) 理念の一つに「地域の行事に参加しよう」と掲げ、積極的に地域とかかわる事をすすめておられる。地元商店街の七夕祭りには作品を出展され、今年は「愛媛銀行賞」を受賞された。又、七夕祭り実行委員会には職員代表も参加して、地元役員との交流の輪も広がった。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 交流が持てるように常に努めている。地域の一大イベントである七夕祭りには笹飾りを出品し、商店街や地域の方と一体となり祭りを盛り上げている。また、秋祭りの時には、地域の神輿やだんじり、太鼓台が数多くホームに集まってくれる。秋には菊見会を開き、地域の方々にも見て頂いている。	
			(外部評価) 地域で行われる敬老会には、職員代表がお手伝いに出でおられる。事業所が育てている菊を展示する「菊見会」には、多数の方が訪れている。野菜を届けて下さった方は、お茶を飲んで帰られたり、利用者が庭でお茶を飲んでいると立ち寄ってくれたり、又、葉牡丹を育てることを協力して下さっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) デイサービス事業所、配食サービスや居宅支援事業所が併設されており、地域の高齢者の相談窓口となっている。民生委員の方や地域の方々も見学や相談に来られる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	利用者の代表、家族の方、民生委員、市役所の方などに参加していただき、管理者、各ユニットスタッフがサービス内容や行事について写真など資料を使い報告し、意見を聞いている。
			(外部評価)	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)	主に管理者が行っている。今年からは主任や行事委員が七夕祭り実行委員会に参加し地域との交流の輪を広げるようにした。また、花見、敬老会などの行事の案内を出し、足を運んでいただける機会を設けている。
			(外部評価)	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	ユニット会や日々の申し送りにおいて、ケアを振り返り、精神的にも身体拘束が行われてないか点検している。身体拘束は行っていない。全職員対象に法人主催で市役所高齢介護課の方による研修会を催し勉強した。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	虐待防止法等について研修会に参加している。施設内で勉強会を開いている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	権利擁護についての研修に参加している。必要な人への対応は管理者が行っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	契約時に管理者が説明し、承諾していただいている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	苦情相談の窓口を設けている。運営推進会議や面会時に意見、要望を聞き、改善すべきところがあれば、速やかに行っている。	
			(外部評価)	事業所では、利用者・ご家族に食事や行事についてアンケートをとり、要望を聞いておられる。又、運営推進会議時にも利用者やご家族の意見を聞いておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 勉強会やユニット会で個々が意見を言える場を設けている。	
			(外部評価) 事業所職員で話し合い、介護用ベットや入浴リフトの導入を検討してもらえるよう、法人に要望されている。事業所の制服について、職員と法人とで話し合い、2通り(ブラウス・Tシャツ)から選べるようにされた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者を通して職員の意見を聞き、職場の環境や条件の整備に努めている。新たに資格を取得した職員を表彰し、報奨金をもらえたりし、励みになっている。職員の資格取得を支援し、勉強会を行っている。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内研修また外部での研修の機会はある。掲示板に研修の情報を張り出している。研修を受けた人は、報告書を書き資料等は全員で見ることができるようになっている	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地域のグループホーム連絡協議会に参加して情報交換している。同一法人内のグループホームや施設についての情報は比較的入りやすいが、他の施設についてはあまり情報がない。	
			(外部評価)	
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご利用前に同一施設内のデイサービスなど利用していただき、情報収集などを行う場合もあるが、通常は事前面接などで情報収集している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居の申し込み時より不安に思っていること、困っていることなどの相談を受け、個々に応じた対応に努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談時、本人やご家族の思いや状況を確認し改善に向けた支援の提案や相談援助を繰り返し行い、信頼関係を築いている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者は、人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、平素から利用者に教えてもらえる場面が多くもてるように工夫や声掛けに配慮している。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの出来事や気付きの情報を共有している。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>お墓参りなど利用者や家族の生活習慣を尊重している。利用者が家族から孤立した状態にならないようホームで行う行事などには出来るだけご家族や知人に参加していただけるようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者の中には出身地の敬老会に参加する方もおられ、事業所で送迎されている。併設デイサービスに出身地区の知人が利用されている場合は、時には、一緒に過ごせるような機会作りをされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) おやつ時やレクレーションを行う時には、職員も一緒に多くの会話を持てるように支援し、利用者の関係が円滑になるように働きかけている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された方がいれば、お見舞いに行ったり、他の施設に入所された方には、家族からの相談を受ける事もある。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で把握に努めている。本人の意向に添えるようにスタッフで話し合い、問題を共有し、一人ひとりの思いに添えるように努力している。	
			(外部評価) 日々の生活の中で職員が気付いたことや、ご本人・ご家族から聞き取ったことを「生活歴シート」にまとめておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) プライバシーに配慮しつつ、利用者自身の語りや家族、知人の訪問時など少しずつ把握に努めている。また、知り得た情報を職員同士で共有できるように、生活歴や状態像記入用紙に書き込んでいる。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活習慣や心理面での視点や出来る事できないことに注目し、全体の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者が今までと同じように自分らしく暮らせるよう、本人、家族の要望を聞き、ユニット会やカンファレンスを開き、介護計画を作成している。 (外部評価) 介護計画は、草案の段階でご家族に相談や提案等して、意見を出していただきやすいよう取り組んでおられる。計画は3ヶ月毎に見直しすると共に、事業所オリジナルの「ケア行動計画チェック表」で、毎月評価やモニタリングをされている。毎月行われるケアカンファレンスでは、利用者個々の目標や課題について話し合い、必要に応じて随時見直しされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別にファイルを用意し、体調不良や精神面などの変化を記録し、スタッフ全員が目を通すようにしている。毎月介護計画について、カンファレンスを開き記録を活かしている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) ショートステイや通所介護を行い家族の要望に沿ったサービスを行っている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 歌や踊り、美容ボランティアの方の訪問が定期的にある。消防機関と協力して避難訓練をしている。(年2回)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>定期的な受診には遠隔地以外は状態がわかる職員がお 連れしたり同行したり家族と協力し合っている。 グループ内の医療法人との連携がとれているので、早 急な対応が可能で適切な指示がもらえている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>市内の病院を受診する際は、職員が同行することが多 い。都合によってご家族の協力をお願いしている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>体調が悪い利用者がいたり、異変に気づいたときは、 看護師に相談し指示を仰いでいる。施設の看護師や担 当医師と連絡が取れる体制をとっている。</p>	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入院時は、本人への支援方法に関する情報を医療機関 に提供している。担当医や病院と連携し情報の交換や 退院に向けての受け入れを行っている。 主に管理者が病院や家族と連携をとっている。</p>	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>主に管理者が行っている。早い段階から本人、家族、 協力医療機関の医師と話し合い、意見を聞き、連携を とっている。また、体調に変化が見られたときなど、 すぐに対応していただけるよう医療機関とも連携を とっている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>管理者は、「介護は職員・家族は愛情」をモットーに 取り組んでおられる。状態変化時には早目にご家族に 声をかけるようにされている。最期までホームで居た いと希望される利用者やご家族は多い。医療が必要と なった時には主治医・ご家族等と、事業所でできるこ とをお話して、ご家族に判断してもらうようになって いる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 勉強会を開き対応等について勉強している。消防署の協力のもと、救命救急や応急手当の講習を受けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署指導のもと避難訓練を実施している。消火訓練も実施をしている。近隣の会社や個人のお宅にも協力をお願いしている。 (外部評価) 2階ユニットは、ご自分の力で歩行できる方が入居するようになっており、普段から階段の上がり降り等がされている。避難訓練は年2回実施し、誘導方法等は、マニュアル化されている。	近所の工場に協力をお願いされているが、さらに、いざという時の地域からの協力者を増やしていかれてほしい。地域の方達と一緒に災害時の訓練を行う等、全利用者、職員が安全に避難できるよう訓練を重ねたり、協力を得られるよう働きかけていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者個々の状態に合わせた声かけを心がけている。その都度、言葉掛けや対応の仕方を見直したり話し合っている。 (外部評価) 職員は、「声の大きさ」に気を付け、「ゆっくりと話す」ことを心がけておられる。職員の利用者への対応について、その時々職員同士で話し合うようにされている。調査訪問時、職員はゆっくりと利用者へ声をかけ、ご本人に了解を得てからかかわっておられる様子がかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活では、出来る限りご本人の希望を聞くようにし、判断できない方は、表情などを見て対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			花や野菜など好きな方には、一緒に育てるお手伝いをしたり、それぞれの生活歴を大切にするような環境を整えるよう職員間で話し合いをしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			着替えは本人の意思を優先し、自己決定がしにくい利用者に対しては、職員と一緒に考えている。散髪の希望があれば、理美容師に依頼し訪問してもらっている。また、キワゾリのボランティアも利用している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			各人の能力を評価し、調理や配膳など役割分担していただいている。それまでの生活の中で培った知恵などを教えていただいている。	
			(外部評価)	
			旬の野菜や地元の食材を使用するよう心掛けておられる、梅干やらっきょう・佃煮の他、白菜や野沢菜等の漬物も手作りされている。利用者は食材の下ごしらえや下膳・食器洗い等、個々に出来ることを職員と一緒にされている。調査訪問時には、地元の方からいちぢくの差し入れがあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			栄養のバランスを考え献立をたてている。水分については、摂取量を記入している。入浴前後、入眠前の水分補給も行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			毎食後口腔ケアを行っている。義歯の磨き残しがあれば、職員が介助している。義歯については、就寝前にはずし、週2回義歯の洗浄をおこなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	個人個人の排泄のパターンを考えながら、声掛けし、トイレへ誘導している。落ち着かない時にも様子を見て、誘導している。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	排泄チェック表により、それぞれの利用者について職員が把握している。緩下剤を利用している方もいるが、できるだけ薬に頼らず排便できるように食事を工夫している。センナ茶やヨーグルトなども利用している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	気持ちよく入浴していただけるようにスタッフ全員相談し、その人に合わせた声掛けや、生活習慣に合わせた入浴を心がけている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	日中は、ソファーや和室でくつろげるようにしている。就寝前には、温かい飲み物を勧めている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬表を1冊のファイルにまとめている。服薬時には、本人に手渡したり、口にいれるなど、正しく服用できているか確認している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 野菜切り、洗濯物たたみ、花への水やり等、一人ひとりの能力を考えてしていただいて、それが出来る事によって自信をもっていただいている。また、季節により行事を楽しんでいただいている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎朝、天気の良い日にはスタッフ付き添いにてホーム周辺に散歩に出かけ、自然に触れ、気分転換を図っている。 季節の果物狩りや地域の七夕祭りや運動会などに本人の希望や体調を考慮しながら出かける。	
			(外部評価) 利用者の希望を募って毎朝近くを散歩されており、玄関には麦わら帽子が用意されていた。各ユニットでは写真等を見ながら、利用者の行きたい場所の希望等を聞き取り、出かけられることもある。個々の買い物他、墓参り等はご家族の意見を聞きながら、職員がお連れすることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 施設内でお金を使うことはパン屋さんが来たときくらいであり、個別に必要な買い物も立替え払いを行っている。個々の金銭管理能力に応じて援助しているが、少額のお金の入った財布を金庫で預かって買い物をを行うときにも職員が見守り援助している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は個々の能力によりかけていただいたり取り次いだり支援している。手紙が書ける人には便せんやはがきを準備をしている。あて名書きや主文を職員が書き絵を色付けたり、ご自分の名前だけを書いていただいたりしている。また、年賀状、暑中見舞いを出す支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
				利用者手作りの季節折々の飾り付けや花を活けている。(ひな祭り、五月人形、クリスマスなど)また和室の部屋があり、家庭的な雰囲気を楽しめるようにしている。	
			(外部評価)		
			菊見会に向けて沢山の菊が育てられている。利用者が水やりをしてくれることもある。トイレには手すりを設け、利用者が使いやすくされている。居室の窓にはすだれがかけられ、夏の日差しを和らげてあった。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)		
				テレビの前や廊下などにソファを置き、思い思いに過ごしていただけるよう居場所作りをしている。	
			(外部評価)		
			テレビの前や廊下などにソファを置き、思い思いに過ごしていただけるよう居場所作りをしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
				自宅で使い慣れたタンス、テーブル、鏡台を持って来ていただいている利用者もいる。壁にはカレンダーや写真をはり、部屋が殺風景にならないようにしている。	
			(外部評価)		
			使い慣れた家具を持ち込まれたり、娘さんからの絵手紙や日常のお気に入りの写真を貼った居室もみられた。花の好きな方の居室には、職員が季節の花を飾っておられた。消臭効果がある観葉植物を置いておられる方もあった。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
				トイレを「便所」と表示して分かりやすいようにしている。本人や家族の了解を得て居室に名札を掲げて、戸惑いを減らしている。特に夜間など分からない時は声掛けし誘導している。	
			(外部評価)		